

カトリック河原町教会だより

2016年4月

けんりゅう
大塚乾隆神学生 助祭叙階 おめでとうございます 2016.3.5



写真提供: 京都教区広報委員会

3月5日、大塚乾隆神学生の助祭叙階式が河原町教会聖堂で行われました。大塚喜直司教は叙階の儀の中で、「助祭(=ディアコノス)は歴史的に司祭を助ける務めを果たす者であり、その最高の模範はキリストです。イエスの命令は仕事ではなく、人を愛し仕えることであり、奉仕には、徹底して自分を捨てて無とする、神の前における謙虚さが必要です。謙虚さは、神に愛されている確信から生まれるもので人間の力によるものではありません。神の愛に根ざし、すべてを投げうって、愛と喜びをもって人々に奉仕してください」と語られました。(編集委員)



叙階の恵みを受けて

京都教区 大塚 乾隆 助祭

いつくしみ深い神様の導きと皆様のお祈り、ご支援に支えられて、3月5日に助祭叙階の恵みに与りました。助祭叙階のためにお祈りいただき、心より御礼申し上げます。

叙階式の福音朗読は「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ」(ヨハネ15・16)の箇所を選びました。神学院に入るかどうか迷っていたときに、あるミサの中で読まれたのを聞いて、「自分で決めるのではなくて、神様にお任せしよう。もし神様が呼ばれたのなら大丈夫だろうし、そうでなければその時考えよう」と考えを変えました。しかしその頃は、「いつも共にいてくださる」と漠然としたイメージはあったものの、神様・イエス様がどんな方かをよく知りませんでした。神学院生活を始めて、講義の中で神様・イエス様のことを学び、また日々の念祷や特に年に一度の霊操を通して、今は神様が愛といつくしみそのものであり、イエス様が私たちの友であると少しずつ気づきました。これは、聖書を通して語りかけられる神様の言葉に耳を傾

け、沈黙の祈りの中で神様とイエス様と対話することの積み重ねによっていただいた恵みであり、このことに気づく恵みをいただけたことを感謝しています。霊操を指導してくださっている神父様が「霊的生活は恵みです」と言われたことが印象に残っています。

神学院に入ったときは、司祭の大きな役割はミサをすることだと思っていました。もちろんミサを捧げることは大切なのですが、この5年を通して司祭の役割はそれだけではなく、洗礼や聖体・結婚式や叙階式・病床訪問や葬儀といった、人生の大きな場面で人と関わり、神様の愛といつくしみを伝えていけることがどれほど素晴らしいことかを感じることができました。

4月から東京キャンパスで最後の1年を過ごしますが、その中で友であるイエス様との交わりを深めていくことができるよう、お祈りいただければ幸いです。私も皆様のためにお祈りします。

北村善朗神父 司祭叙階25周年・銀祝感謝ミサ

“北村神父様おめでとうございます” 3月19日(土)に河原町教会聖堂で感謝ミサが行われました。

「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます」

(ヨハネ21・17)

北村神父は司祭叙階25周年にあたりこのみことばを選ばれ、挨拶の中で、「25年の時の流れの中で、イエスはわたしを愛するだけでなく、わたしの貧しい愛を求めておられることに気づかされました。このイエスの愛を皆さんと分かち合いたいと思います」と述べられました。



写真提供: 京都教区広報委員会



「ミゼリコルディアを生きよう」

洛東ブロック四旬節黙想会 2月27日(土)

鈴木信一神父(聖パウロ会)を迎えて

『いつくしみの特別聖年における四旬節の心構え』



教皇フランシスコによる大勅書『イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔』の原文タイトルは、『ミゼリコルディア・ヴルトス』(直訳=「いつくしみのみ顔」)です。「ミゼリコルディア」は、昔は「あわれみ」と訳していましたが、今は「いつくしみ」と訳しています。「あわれみ」は、上から目線という感覚があるからでしょう。「ミゼリア」とは「みじめさ・悲しみ・痛み」であり、「コルディア」とは「心」ですから、「ミゼリコルディア」は「悲惨、痛み、つらい闇を体験した心」ということではないでしょうか。

この大勅書の中心的メッセージは、「神はミゼリコルディア、イエスはミゼリコルディア、だからわたしたちもミゼリコルディアを生きよう」ということです。ミゼリコルディアは神の愛の特性を表しており、神はわたしたちの痛み、悲しみを、自分のことのように分かったださるということです。それは抽象的な概念ではなく、我が子に対して体の奥から湧きおこる親の愛のようなもの、体の奥から湧きおこる、はらわたがちぎれるほどの愛、これが神のミゼリコルディアです。

その「神の愛を味わって生きる」わたしたちキリスト者は、他者の痛み、苦しみ、悲しみ、挫折を、自分のこととして受けとめる心を持つよう求められます。他者の痛み、苦しみの叫びをどうしようもなく自分も叫ぶ・・・そんな心がミゼリコルディアです。キリスト者はそういう心を持って生きる者なのだと、教皇は繰り返し言われます。

新しい福音宣教とは、「ミゼリコルディアを生きていこう、主が生きられた愛の道を生きていこう」ということなのです。



この世界は、成功や偉大さを求め、力ある人に気を配り、小さな者に気を配らない世界です。しかし主は、「最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」(マタイ25・40)と言われたとおり、これが、わたしの歩んだ道、ミゼリコルディアを生きる道と言われるのです。

わたしたちは今の自分から一歩出ていき、他者に向かって、その道を歩むことが求められています。他者の痛みを前にして心が打ちふるえ、自分から歩み寄る。それがミゼリコルディアを生きることだからです。

しかし、わたしたちはミゼリコルディアから遠く、貧しく、決して模範的なキリスト者ではないことに気づきます。そこで「主よ、あわれみたまえ」と祈ることが必要です。英雄的に生きる人はわずかで、わたしたちはミゼリコルディア、愛を生きることはなかなかできません。それがわたしたちの現実です。わたしたちは自分の周りに壁を作って、自分を守ろうとします。無関心という壁、惰性という壁、しらけという壁を作っている、貧しいキリスト者です。

そんなわたしたちですが、時間・持っているもの・心を割いて、小さな一歩から始めましょう。そうすれば教会は変わります。ありのままを見て、聞く勇気を持ちましょう。聞こえれば聞こえるほど、見えれば見えるほど、ミゼリコルディアを生きるようになります。すぐにはできなくても、「少しでもミゼリコルディアを生きるわたしになりたい」と心から願ってください。願っていれば必ず道が開けます。

イエスはそんなわたしたちを受け取ってくださいなのです。

(講話要約/教育部担当者)



河原町教会3月評議会議事録要約

2016年3月6日(日)

司祭団の報告＝①洛東ブロック長期計画、年間計画を策定し掲示板に提示している。②4月1日以降の入門講座、信徒養成講座の担当司祭を現在調整中

ブロック黙想会＝参加者約120名。鈴木信一神父の講話で、有意義な四旬節のひと時を過ごした。

各部会報告＝(1)典礼部＝①2016年度「集会司式者」「聖体授与の奉仕者」を申請済②ミサ中の聖書朗読者で、朗読台のファイル入の「聖書と典礼」が読みづらい時は朗読台の下に別紙「聖書と典礼」を置いてるので使用する。(2)財務部＝①復活祭卵包み、ろうそくの袴付けの協力要請②長期目標達成のため、分かち合いの機会を作る必要があるとの意見が出た。(3)教育部＝①土曜学校：①堅信予定者7名の勉強会を3/29(火)に予定②教区小学生侍者合宿に、新6年生4名とリーダー5名が参加予定 ②中高生会：①年間予定表、新学期案内状を発送済②3/19～20の「洛東ブロック中高生の集い」の参加者募集中 ③エリの集い：①初聖体の準備を開始②今年度のバザーは実施しない。③侍者服10着新調の予定 ④信徒養成：2/27にブロック四旬節黙想会実施。講話の詳細は「教会だより4月号」に掲載予定 ⑤ザビエル訪れ会：「クリスマス市民の集い」アンケート回答者の訪問を完了(4)施設管理部＝①ヴィリオンホール等の空調点検と修理が必要②地下台所の排水不良に早急に対応する。(5)広報部＝「河原町教会だより」のレイアウトを4月号から変更予定

行事予定＝4ページ行事予定欄に記載

協議事項＝(1)聖週間・復活祭について：①各部会ごとに聖書朗読者を選任する。②洗足式の12名を選任のため、昨年の受洗者に案内状を発送③復活祭ミサ後の懇親会形式は前年と同様。会場設営を若い人に協力要請する。(2)ブロック長期目標・年間計画について：分かち合いの場を多く設け、ブロック共同体づくりを進める。(3)いつくしみの特別聖年について：「河原町教会いつくしみの特別聖年行事」として6/11(土)、福知山教会巡礼バスツアーを計画中(4)新聖堂建立50周年記念行事について：各部会から委員を1名選出し、第1回実行委員会を3/12(土)に開催予定 **その他**＝WYD(ワールド・ユース・デー：ポーランドのクラブで開催：2016.7/23～8/5)への参加希望者が2名あり、評議会で承認された。

洛東ブロック長期計画と年間計画が決まる

昨年秋に示された京都南部地区小教区統合計画に従って、下記のように決定されました。心をひとつにして前進していきましょう。

洛東ブロック長期計画

(2016年4月1日～2021年3月31日)

「洛東ブロックは、2026年の京都南部地区小教区統合を見据え、2016年4月からの5年間、各小教区固有の歩みを尊重しながら、ブロック共同体づくりを進めていく。」

そのために

1. ブロック全体に開かれた分かち合いの場を設け、小教区間のつながりを深めていく。
2. 各小教区特有の学び、祈り、活動(地域との交わり、国際協力など)、交流行事をブロック共同体の福音宣教活動として共有する。
3. ブロック内小教区の多様性を活かしながら、ブロック全体として取り組める福音宣教の可能性を模索する。

2016年度洛東ブロック年間計画

1. いつくしみの特別聖年をテーマとした洛東ブロック四旬節黙想会を行う。
2. 洛東ブロック合同中高生会の集いを行う。
3. いつくしみの業の実践として、高齢者・病者訪問を子どもたちと大人が協力して行う。
4. いつくしみの特別聖年大勅書の分かち合いや巡礼を小教区で取り組み、他の小教区にも呼びかける。
5. いつくしみをテーマにして、平和旬間の行事を各小教区で取り組み、他の小教区とも連携する。



[門の聖句] わたしが

聞いたもの 目で見たもの
手で触れたもの この命は現れました
ヨハネの手紙Ⅰ 1・1,2

◇ 2016年4月・5月の行事予定 ◇
 (5月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
4	3	日	神のいつくしみの主日 評議会4月例会 10:30ミサ後 子ども初聖体 10:30ミサ(ミサ後パーティー)
	4	月	神のお告げ
4	17	日	教区新信者のミサ14:00 世界召命祈願の日
	23	土	洛東ブロック会議 (於:桃山教会)14:00
5	1	日	評議会5月例会 10:30ミサ後 世界広報の日
	8	日	主の昇天
	15	日	聖霊降臨の主日 南部地区合同堅信式 14:00
	22	日	三位一体の主日
	29	日	キリストの聖体 教会美化デー

溝部 脩司教 帰天 † 永遠の安息をお祈りください

去る2月29日、高松教区名誉司教フランシスコ・ザビエル溝部脩司教(サレジオ会/享年80歳)が帰天されました。3月2日夕刻から当聖堂で仮通夜が行われ、急な別れに若者を初め多くの参列者が悲しみのうちに集い、永遠の安息を祈りました。

溝部司教は1935年に現北朝鮮で生まれ、11歳で終戦を迎え、12歳で日本に引き上げ別府市に落ち着かれました。中学3年生の時に母親に連れられてサレジオ会が担当する教会に通い始め、1955年に同会に入会。64年、イタリア・トリノで司祭に叙階されました。教皇庁立サレジオ大学、グレゴリアン大学と上智大学で、神学と史学を学ばれました。

2000年から仙台教区司教に任命され、04年には高松教区司教に着座。75歳で引退の後、京都に「望洋庵」を開いて若者の育成に力を注がれました。また、高山右近の列福運動にも貢献されました。



2016年3月27日 主のご復活おめでとうございます

「あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます」(コロサイ3・1)

◇「教会だより3月号」1頁の右近像(写真)説明で「高槻教会」と記載の箇所、正しくは「玉造教会」(大阪カテドラル聖マリア大聖堂)でした。訂正してお詫びいたします。

河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室 / 3F応接室)

火曜日 10:30 (第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修 神父(1F)

19:00 (第1・祝休) 一場 修 神父(1F)

木曜日 15:00 (祝休) 一場 修 神父(1F・3F)

金曜日 15:00 シスター 庄子(3F)

19:15 村上 透磨 神父(1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】 第1水曜日 19:00~20:00 一場 神父

【山科教会】 毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】 毎火曜日 10:00ミサ後~11:30

一場 神父

【桃山教会】 第1・2・4金曜日 19:30~20:30

一場 神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室)

北村善朗神父「祈りを学ぶ」

4月28日(木) 14:00

5月12日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月・第3火曜日 10:30

※福音の分かち合いです。

どなたでもどうぞ。

カトリック河原町教会だより 2016.4

編集:カトリック河原町教会 広報部 担当司祭:一場 修

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021

URL:http://CatholicKawaramachi.Kyoto



教会公式ウェブサイト



教会公式フェイスブック